

◆ガボール・タルケヴィ

(トランペット／ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席)

1969年ハンガリーのエステルゴム生まれ。代々の音楽一家に生まれ、ピアノとクラリネットを学ぶ。やがてトランペットに魅せられ、父親のイシュトヴァーン・タルケヴィに手ほどきを受ける。早くからオーケストラ奏者を目指すほどトランペットに打ち込み、ジェル音楽学校、フランツ・リスト音楽学校を経て、フランツ・リスト音楽院を卒業。ジェルジ・ガイガー、ハンス・ガンシュ、ジェルジ・クルタークなどに師事し、大きな影響を受ける。

ベルリン交響楽団ソロ奏者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者、バイエルン放送交響楽団ソロ奏者を経て、2005年よりベルリン・フィル首席奏者を務める。オーケストラでの活動に加え、プロ・ブラスやオーストリア・ブラス・コネクションなどのアンサンブルのメンバーとしても活躍。ソリストとしてはヨーロッパ、アメリカなどで数多く出演しており、ベルリン・フィル、ミュンヘン・バッハ管、バイエルン放送響室内管、中国フィル、バッハ・コレギウム・ミュンヘン、オーケストラ・アンサンブル金沢などと共演。

日本では2010年5月に東京で開催されたリサイタルが、NHK-BSでも放送され大きな反響を呼んだ。ヨーロッパ、アジアなど世界各地でマスタークラスを開催し、2018年からベルリン芸術大学教授を務めている。

www.tarkoevigabor.com